

武具のデザイン

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成29年9月21日(木)～
11月12日(日)
- 休館日 10月11・12日、11月1・2日

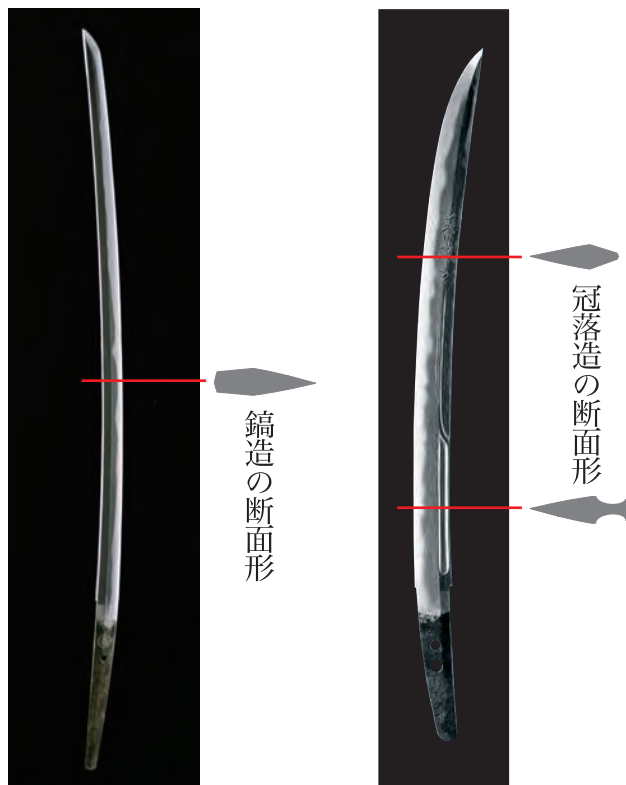
実用性の追求から生まれた「用の美」のデザイン、格式を表す「様式美」のデザイン、遊び心や心意気を反映した「こだわり」のデザイン。武士がその生命を預けた武具の数々にはさまざまな美の要素が見て取れます。

今回は当館収蔵の品々から、そんな美を感じることでできる武具たちを紹介いたします。

刀・槍のデザイン

刀や槍の形状のことを「造り込み」といいます。特に刀の場合、その断面の形状をどのようにデザインするかは、その刀の強度、切れ味を大きく左右することになります。よく見られる「鑄造」は、厚みをもたせた棟側から稜(鑄筋)を境目として刃側に向かって鋭くなる形状で、強度と切れ味を両立させるための刀として一般的な形状です。このほか片面を平たくし、片面の刃側のみ鋭く落とす「切刃」とする「片切刃造」や、脇指や短刀にままだ見られる、切れ味を追求したと考えられる、先の方のみ棟側も厚みを落とした「冠落造」など、さまざまな形状が見られます。

槍は刺突を主な機能とした長柄の武器ですが、シンプルな「直槍」のほか、相手の身体に引っ掛けたり、刃を受け止めたりできる「鎌」を付けた「十文字槍」や「片鎌槍」といった変わった形状のものも戦国時代ころから見られます。



(写真左：刀 銘(菊紋)山城守藤原国清(越葵文庫) / 右：脇指 銘 信国(福井市春嶽公記念文庫)

陣羽織のデザイン



陣羽織は甲冑の上から着用された羽織。本来は防寒・防雨のための装備ですが、大名たちは自らの威厳を示すためのファッションとして、素材や図柄に工夫を凝らしたものを着用しました。



(写真左：葵葉模様頭紋紗陣羽織(越葵文庫) / 中：同 蜻蛉図部分拡大 / 右：白糸威陣羽織(福井市春嶽公記念文庫))

兜のデザイン

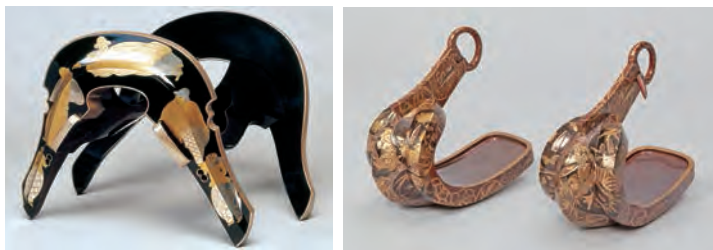


兜も本来は敵の攻撃から頭部を守る重要な防具ですが、戦場における自らの活躍をアピールするため、また一軍を率いる将の威厳を示すため、桃山時代以降には写真のような、機能よりはデザイン重視の「変わり兜」が登場しました。そこには着用者の強いこだわりが感じられます。

(写真左：山勢立物付蒙古鉢形兜（越葵文庫） / 右：向兎形兜（個人蔵）

馬具のデザイン

騎乗のために馬の背に置く鞍、鞍に吊り下げて足を踏みかけるための鐙、いずれも古墳時代に馬とともに大陸からもたらされた後、わが国で独自の発達をとげました。写真のように丹念な蒔絵を施された優品も多く伝えられています。曲面を多用したフォルムに調和した文様構成・配置も見事なものがあります。



(写真左：南蛮人図蒔絵鞍（複製・当館蔵） / 右：鐙尽文様蒔絵鐙（個人蔵）

【展示資料一覧】

名称	時代	所蔵先
1 刀 銘（菊紋）山城守藤原國清	江戸時代前期	越葵文庫
2 太刀 銘 康光	室町時代前期	福井市春嶽公記念文庫
3 脇指 銘 信国	南北朝時代	福井市春嶽公記念文庫
4 刀 銘 雲州藩藤原長信作 安政五午年二月日従有馬純正吉村重久拝領之	安政5年（1858）	当館
5 脇指 無銘 伝法城寺国光	南北朝時代	越葵文庫
6 蠟色塗打刀拵	江戸時代	越葵文庫
7 鯉鱗包鞘大小拵	江戸時代後期	福井市春嶽公記念文庫
8 鐙 赤銅地蜘蛛図 銘 吉岡豊後介	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
9 鐙 鉄地南蛮象嵌	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
10 鐙 鉄地木瓜形牡丹図	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
11 鐙 鉄地木瓜形大透	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
12 鐙 鉄地亀甲形金象嵌桐透図	江戸時代	福井市春嶽公記念文庫
13 鐙 赤銅魚々子地葵形三葉葵丸紋高彫金色絵	江戸時代	越葵文庫
14 鐙 鉄地御多福木瓜形植目地腕貫孔透 銘 越前国赤尾甚左衛門尉作	江戸時代	越葵文庫
15 直槍 銘 近江守藤原継廣 越前住下坂	江戸時代前期	越葵文庫
16 十文字槍 無銘	江戸時代	越葵文庫
17 片鎌槍 銘 相州住助廣	室町時代	越葵文庫
18 十文字槍 無銘 伝三条小鍛冶 月剣	江戸時代	越葵文庫
19 南蛮形槍	17世紀か	越葵文庫
20 葵葉模様頭紋紗陣羽織	江戸時代	越葵文庫
21 白糸威陣羽織	江戸時代末期	福井市春嶽公記念文庫
22 六十五間筋兜 銘 越前国豊原住馬免朝次作	江戸時代初期	井伊美術館
23 山勢立物付蒙古鉢形兜	江戸時代後期	越葵文庫
24 向兎形兜	江戸時代中期	個人蔵
25 唐冠形兜	江戸時代中期	越葵文庫
26 南蛮人図蒔絵鞍（複製）	原資料：桃山時代	当館
27 菊花胡蝶文様蒔絵鞍・鐙	宝徳2年（1450） 蒔絵：江戸時代中期	越葵文庫
28 鐙尽文様蒔絵鐙	江戸時代	個人蔵

次回の展示

企画展

日本美術を解剖！ 節句—しつらいと装い—

平成29年11月15日（水）～平成30年1月21日（日）

展示解説シート No.108
平成29年9月21日発行
福井市立郷土歴史博物館
〒910-0004 福井市宝永3-12-1
電話 0776-21-0489
F a x 0776-21-1489
担当：松村知也
印刷 / 宮本印刷